

第57回

高知市社会福祉大会

「向き合い、共に生きる」



精神障害や発達障害のある方が地域で暮らしていくためには周囲の皆さんの障害特性や生きづらさに対する理解とサポート、そしてその人にとっての「居場所」「いきがい」が必要です。障害のある人もない人も共に支え合いながら生きていける地域づくりについて考えます。

入場無料
申込不要

平成29年10月24日 火

13:00～16:00 ※12:30開場

高知市文化プラザかるぽーと 大ホール

社会福祉大会とは？

社会福祉の発展に功績のあった方々に顕彰及び感謝の意を表し、また実際に具体的な活動方法等の話をお聴きして、皆で地域福祉の向上を目指す大会です。

プログラム

12:30～ 開場 ☆ロビーイベント開始☆

13:00～ 開会・式典・表彰式

13:55～ 事例発表

①高知市精神障害者家族会連合会 会長 松尾美絵 氏

②カフェ「サードプレイスすろー」 オナー 高橋英美 氏

③高知市社会福祉協議会 高知市生活支援相談センター

主事 片田彩智 氏

コーディネーター：高知市保健所長 堀川俊一 氏

15:05～ パネルディスカッション

ロビーイベント 出店コーナー

- 福祉事業所で作成したお菓子や野菜、コーヒーなどの販売
- 名士の染筆による色紙販売



託児あり

- ※要予約
- ※6歳まで

※託児に関しては、6歳までのお子様
が対象となります。

10月20日（金）までに下記連絡先へ
の事前予約をお願いいたします。

手話通訳
要約筆記
あります

【主催】高知市・高知市民生委員児童委員協議会連合会・高知市地区社会福祉協議会連合会・高知市社会福祉協議会
【後援】高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・NHK高知放送局・読売新聞高知支局（順不同）

お問合わせ

高知市社会福祉協議会（総務調整課）

TEL 088-823-9515

～事例発表～

誰もが住みなれた地域で自分らしい生き方ができるように

高知市精神障害者家族会連合会 会長 松尾美絵



うつ病，統合失調症，発達障害その他精神障害は社会のなかで，病気や症状への正しい理解や認識はまだまだ広がっておらず，いろいろな場面で，社会から孤立していることがたくさんあります。家族の負担も大きく，さまざまな支援の手を必要としています。

自分らしい生き方を実現していくために，精神障害当事者は，何を望み，何を必要としているのか，そのためのソーシャルワークは何ができるのか，共に考えていきたいと思えます。

仕事場でもない，生活の場でもない，まちの中の“あなたの場所”

カフェ「サードプレイスすろー」 オーナー 高橋英美



養護学校の教員経験から卒業生の地域の居場所の必要性を感じ，「サードプレイスすろー」をオープン。

地域生活を送るうえで必要とされている，仕事場でもない，生活の場でもない，ホッとできる第三の居場所にしたいとの想いが込められています。誰でも気楽に入れる，居合わせた方同士が自然にふれあう場を目指しています。

生きづらさを抱える人に寄り添う支援とは

高知市社会福祉協議会 高知市生活支援相談センター 主事 片田彩智



平成27年から「生活困窮者自立支援制度」が本格施行され，高知市社会福祉協議会では，平成25・26年度に実施したモデル事業に引き続き，高知市からの委託を受けて生活支援相談センターを開設しています。当センターでは，生活に困りごとを抱えている人の話を聞き，その解決方法を一緒に考えています。また，相談者の中には，精神障害や発達障害のある方もいらっしゃいます。

その特性に寄り添い，その人らしい生活を送るために何が必要かを，その人の声を聞きながら考えています。

コーディネーター

高知市保健所長 堀川 俊一

1979年鳥取大医学部卒。高知医大公衆衛生学教室助手，高知県本山保健所長，佐賀医大総合診療部助手，高知県十和村国保診療所長等の後，1996年に中核市移行・保健所設置準備のため高知市に赴任。2001年より健康福祉担当参事として高齢者保健福祉計画，障害者計画等の部門計画の策定や保健と福祉の連携を担当。2006年より健康福祉部長。2008年4月より現職。

